



受益者の声

マクシーノ(村長)「この識字授業はとてもありがたい。里の学校はとても遠い。この村で勉強できるのはとても助かる」

ホーベン(長老)「協会

のおかげで大分暮らしは良くなったが、まだまだ食べ物を採すのに忙しくて授業に参加できず残念だ。わたしには何が良いことか悪いことか分別のあるつもりだ。しかし紙に書いてあることは何もわからず、それが良いことなのかどうかもわからない。わしの目はまだ見えるのに字の意味が分からないのは残念だ。」

フワンチョ「子供達が村で勉強できてとてもうれしい。給食もとてもありがたい。皆食べ物で忙しく、給食が無いとお腹がへって子供達も勉強できない。」

レナト「わたしは勉強したくて勉強したくてしかたがない。勉強はとてもたのしい。腹がへっていても給食があるので元気がでる。どうもありがとう。」

ソニー「いつかこの村にも本物の学校ができることを夢見ている。」



振替口座番号

郵便振替口座

00140-5-546231

口座名義

21世紀協会

選択の自由

私たちは、食料や物資を送る道ではなく、教育を普及させる道を選びました。飢えた第三世界の人々を救えるのは、豊かな国にいる私たちではなく、その国の人々自身です。第三世界の人々が自分で考え、自分の道を選ぶことのできる力を養う手伝いをしようと、貧しくて教育を受けられなかった子供たちに教育の機会を提供してきました。飢えているときは、腹を満たすしか道はありません。腹は満ちても、知識がなければ知識や力のある人の示した道に行くことしかできません。身体と精神の飢えが満たされたときはじめて、目前に多くの道がひらけてくるのです。

自然の恵みを取り尽くしてしまうも、自然と共存しつつ満たされる道を探るも、あるいは、隣人と助け合って生きるも、互いに破壊し合う道を選ぶも、自由です。教育とはそういった選択の自由への道なのです。

お問い合わせ、資料請求先:

特定非営利活動法人 21世紀協会

〒193-0832 東京都八王子市散田町2-68-14

電話 0426-67-5374 FAX 0426-67-5375

<http://member.nifty.ne.jp/akikoc/21c.html>

e-mail: hae03046@nifty.com

すべての子どもに教育を

21世紀協会は、「すべての子供に教育を」を標語に、フィリピンの子供たちに学費を提供するとともに、農村の開発をすすめるNGOです。



21st Century Association

奨学金

里親制度
学校給食
識字教育

フィリピン、ミンドロ島に住む少数民族マンニャン族の子どもを対象に奨学金制度を設け、就学の促進を図るとともに、学校教育の困難な山間部では非公式識字教育を実施し、教育の普及をめざしています。

21世紀協会は教育の普及をめざしながら、学校の建設は主目的ではありません。学校の建物よりも教師を育てます。農業指導を行いながら、農機具の提供は補助的に行うのみです。モノがあってもそれを活かすヒトがいなければ、モノはゴミと化すしかありません。私たちのめざす援助は、モノを作り、モノを扱うことのできるヒトを育てることです。

モノではなく、ヒトを



総合農業構想
村落形成
衛生環境整備
医療援助
農業学校コンプレックス

ミンドロ島では、山が木の伐採や焼畑で木を失い、もはや、人々に豊かな恵みを提供する「優しい自然」ではなくなり、「凶暴な自然」と化してしまいました。保水力をなくした山では、スコールが強流となって流れ落ち、川を氾濫させ、田畑の土壌を浸食し、平地の植物を流してしまいます。不毛の地となったミンドロ島の再生が課題です。



ほんの少したけ「なにか」をしてください。

目的

21世紀協会はフィリピンの子供たちに奨学金を送り、学生寮を運営して教育の普及につとめています。また、少数民族のマンニャン族に農業技術の指導を行い、自然に守られながら、自然と調和して生きて行く人間の未来のあり方を模索しています。

めざすは；

- * 農業技術の取得による飢えからの解放と経済的自立
- * 経済的自立と教育の推進による精神的自立
- * 民族の誇りの回復と自然環境保護への積極的取り組み
- * グローバリゼーションの中にあって新しい地方社会モデルを創出



農村開発

少数民族マンニャン族は森林の乱伐のため、飢えに瀕しています。農業指導を行い、食糧を生産することにより、マンニャン族を飢えから解放し、教育の定着をめざします。

世界では12億もの人間が飢えています。森林乱伐などによる自然破壊のため、焼き畑や採取といった伝統的生活スタイルを脅かされているマンニャンの人々に、米・野菜・果樹栽培、家畜などの土地資源を有効に利用した農業を促進し、自然と人間の共生を模索します。地球の片隅の小さな村で実践した農業は、21世紀の農業のあり方として、世界のモデルとなるでしょう。



次のような協力の仕方があります
ご自分に一番合った方法でご協力ください

会員になる

正会員	一口10,000円/年
里親会員	ハイスクール生 20,000円/年 大学生 50,000円/年
賛助会員	任意の寄付
研究会員	ボランティアとして何か協力したい

ものを集めたり送ったりする

- * 古着、不要品を現地に直接送る
- * 幼稚園、学校、子供会などでバザーを開催して売り上げを21世紀協会に寄附する
- * 書き損じハガキを寄付して、会の運営資金の調達に貢献する

スタッフになる

以下のようなお仕事にご協力いただける方、ぜひ、研究会員としてスタッフに加わってください。

- * 毎月開催されるミーティングに出席して会の運営に参加する
- * バザーに参加したりチャリティーコンサートを開催する等の事業を実行して、会の運営資金を調達する
- * コンピュータの入力、ホームページの作成の手伝い
- * フィリピン現地に駐在し、事業の管理、経理、農業指導、教科指導等を行うスタッフ（無給）